

# 声

情報交換で話された話題を、以下に紹介します。

## ・進行

現在、気持ちの良いあいさつができるか聞きたいた。

## ・入谷駐在所長

登下校の際は、入谷小のあいさつはよいです。

## ・人権擁護委員

知っている子供はあいさつをするが、知らない大人にはあいさつをしなくなつた。

## ・教頭

家庭での様子を聞きたいたのですが。

## ・1学年委員長

家の中では、大きな声であいさつを行うが、家の外では恥ずかしさもあるのか声が小さい。

## ・PTA会長

子供も中学生位になるとあいさつの声が小さくなる。

## ・民生委員

会長さんの家のお子さんは大きな声であいさつをしています。近くの子供たちもあいさつをしています

## ・主任児童委員

近くの子供たちに話しかけるが、最近の傾向で知らない人には反応しない。

話し合いで、上記のような声が聞こえました。防犯の観点から「知らない人には、ついていかない。」などのことを子供たちに話していることが少なからず影響しているものと思われます。地域の中でのコミュニケーションが課題となっているのでしょうか？



普段からの声掛けを…

第26号  
発行元  
入谷小CS推進  
委員会編集部



ホームページ  
へのQRコード

いざという時に勇気を…



メモを取りながら熱心にお話を聞いています。



写真右から須藤署員、及川署員、芳賀署員、小野寺署員、阿部署員、木皿署員の6名が来校しました。



AEDの使い方の説明をしています。



CPRキットによる心臓マッサージ

（全国の）学校では、一年に100人の人が心臓疾患で亡くなっていると聞き、驚きました。僕たちがその時その人にどう対応できるかに、人の「命」がかかっているなら、どうにか助けたいです。

心臓マッサージやAEDの方法を覚えて、もし、誰かが倒れていたら今日教わったことをしっかりと実践できるようにしたい。

また、実技訓練で行った1分間の心臓マッサージは、大人でもすごく大変です。しかし、救急時には、救急隊が来るまで絶え間なく続けなければなりません。持ちが高められた講習会でした。

1月21日(木)午後3時30分よりランチルームにおいて、「第1回いじめ未然防止対策委員会」が行われました。会議には、南三陸警察署、主任児童委員、民生委員、人権擁護委員、PTA本部役員、各学年委員長に出席していただきました。毎年、5・6年生の児童を対象として行われ今年度で4回目を数えています。南三陸消防署から須藤

署員を始めとして6名の署員の方にお越しいただき、動画や画像で子供たちにも分かりやすく「救命の大切さ」を教えていただきました。署員の方からは、「熱心にメモを取る児童や学校の「いじめ」に対する取組や対応について知っていたとき、集まっていました。皆いた皆さんに御意見や御助言をいただきました。また、地域の皆さんに参加いただいたことで、入谷小学校に関する情報等が交換できました。普段から「元気な挨拶」を交わすことが大切であり、地域の皆さんと声を掛け合い関わることは地域を明るくする源になると感じました。さらに、入谷小学校の子供たちが地域の皆さんに元気を届けられるように「いじめのない学校」を目指します。

1月21日(木)午前9時30分より体育館で、少年消防クラブ活動の一環として「救急講習会」が開かれました。毎年、5・6年生の児童を対象として行われ今年度で4回目を数えています。南三陸消防署から須藤

署員を始めとして6名の署員の方にお越しいただき、動画や画像で子供たちにも分かりやすく「救命の大切さ」を教えていただきました。署員の方からは、「熱心にメモを取る児童や

関心をもって取り組んでいただきました。皆さんの今後の防災活動に期待しております。」との言葉をいただ

きました。また、この講習会では、お話を聞くだけでなく上の写真のようにCPRキットを使用して心臓マッサージの実技を行いました。署員の方の指導の下で子供たちは、救命することの大変さを肌で実感できる体験ができました。

講習会の後の子供たちの感想では、

「命」がかかるところが怖かった」とありました。また、この講習会では、お話を聞くだけでなく上の写真のようにCPRキットを使用して心臓マッサージの実技を行いました。署員の方の指導の下で子供たちは、救命することの大変さを肌で実感できる体験ができました。

&lt;p